

### 【目次】

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ■ ごあいさつ                               | P.1 |
| ■ TOPICS の紹介                          | P.1 |
| ■ TOPICS：河川護岸補強アンカー工法事例紹介（宮崎県耳川）      | P.2 |
| ■ NEWS：【建設技術審査証明取得】砂防堰堤補強アンカー工法       | P.3 |
| ■ NEWS：【福岡新技術・新工法ライブラリー登録】SEEE/KIT受圧板 | P.3 |
| ■ 環境防災関連製品一覧                          | P.4 |
| ■ 地震・津波対策におけるご提案                      | P.4 |
| ■ お問い合わせ                              | P.4 |

## ■ ごあいさつ ■

梅雨の候、皆様にはますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。

弊社では、防災対策に関する製品の最新情報等を『SE通信』として定期的に配信させていただいております。皆様方の業務に少しでもお役に立てれば幸いです。

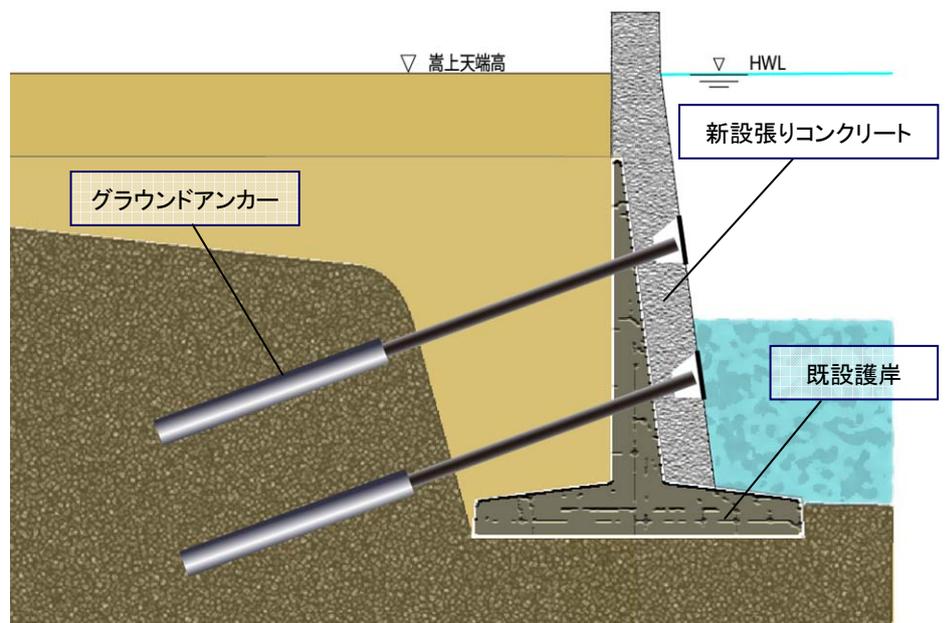
## ■ TOPICSの紹介 ■

今号のSE通信では、

**「河川護岸補強アンカー工法」が採用された宮崎県耳川護岸工事**の事例をご紹介します。

グラウンドアンカー工法は斜面防災や地すべり対策のみではなく構造物の補強工法としても用途を拡げています。

今号では、河川護岸の補強事例としてダブルアンカーU型が採用されました、宮崎県耳川における護岸補強工事を紹介いたします。



近年、台風や局地的な豪雨によって河川が氾濫する被害が増加しており、これらの対策として既設護岸の嵩上げなどの河川整備が進められています。本物件においても、計画高水位の見直しによって既設護岸の嵩上げが必要となり、それに伴う**構造物の安全率の低下を補完**するため、グラウンドアンカー工法が採用されました。

## 工法の特長

■従来の腹付コンクリートなどによる構造物重量の増設と異なり、グラウンドアンカーの緊張力を鉛直分力、水平分力として構造物に作用させて、安全率の向上を図ります。

- コンクリートの拡幅を最小限に抑えることができ、河川流域を侵すことなく補強を行うことが可能
- コンクリートの使用量を大幅に低減できるため、施工性、経済性が向上

物件名：二級河川耳川（諸塚村）諸塚中心部護岸工事  
 施工主名：日向土木事務所諸塚駐在所



■河川護岸の場合、降雨による水位の上昇で流木等がアンカー頭部に接触し、保護キャップが破損するなどの機能の低下が懸念されます。本工事では張りコンクリートに開口部を設け鋼製の蓋を設置することで、**アンカー頭部が露出しない構造**としています。

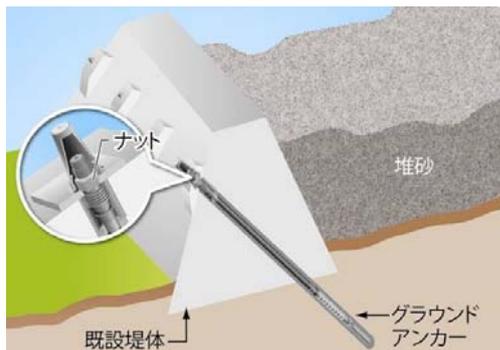
■緊張力によって安全率の低下を補完するため、供用期間中の維持管理が重要になります。蓋構造にすることで、非出水期には蓋を開けて頭部を確認することができ、アンカーの維持管理や緊張力の調整が容易に行えます。

「砂防堰堤補強アンカー工法」が、一般財団法人砂防・地すべり技術センターより、建設技術審査証明（技審証第1202号）を取得いたしました。〔平成25年2月〕

【工法概要】

SEEEグラウンドアンカーの緊張力によって、砂防堰堤に水平力および鉛直力を作用させて安全率の不足分を補完する工法です。

本工法の採用により、腹付コンクリートを最小厚（もしくは不要）とすることができるため、副堰堤との距離が確保でき、経済性、施工性が向上します。



既設砂防堰堤補強イメージ



施工状況：唐沢堰堤  
（関東地方整備局日光砂防事務所）

【一般財団法人 砂防・地すべり技術センター】  
<http://www.stc.or.jp/05examination/002frame.html>

【SE通信バックナンバー：2011年12月号】砂防えん堤の補強工法  
[http://www.se-kankyobosai.jp/mailmaga/2011/SE-tuushin\\_201112.pdf](http://www.se-kankyobosai.jp/mailmaga/2011/SE-tuushin_201112.pdf)

「SEEE/KIT受圧板」が、福岡新技術・新工法ライブラリーに登録されました。  
（登録No.1202015B）

【製品概要】

- ・ 技術名称：「SEEE/KIT受圧板」
- ・ 斜面安定・地すべり抑止に用いられる、グラウンドアンカー用鋼製反力体
- ・ 特長：①現場施工の省力化が図れる  
②工場製品であり、軽量であるため工期短縮が可能  
③構造が薄いため、景観への影響が少ない  
④反力体高さが100mm～230mmと低く、全面緑化に近い緑化が可能



【福岡新技術・新工法ライブラリー内：新技術の閲覧】  
<http://f-newtec.jp.org/library/detail.php?pdf=pdf/1202015B>

1. グラウンドアンカー

- タイブルアンカーA型  
[ランクA/防食構造Ⅲ相当]
- タイブルアンカーU型  
[ランクA/防食構造Ⅱ相当]
- タイブルアンカーM型  
[ランクA/防食構造Ⅱ相当]
- SEEEアンカーF型  
[ランクB/防食構造Ⅰ相当]
- アンボンドアンカーF-U型  
[ランクB/防食構造Ⅰ相当]



タイブルアンカーU型  
KIT受圧板



SEEEアンカーF型

2. グラウンドアンカー工法用反力体

- KIT受圧板

3. 切土補強土工法用反力体

- RSパネル(樹脂製)
- KITフレーム(鋼製)



RSパネル



タイブル

4. 万能引張材

- タイブル

5. 地下水集水多重管

- MTパイプ



MTパイプ



U字郎

6. 樹脂製U字溝

- U字郎

地震・津波対策におけるご提案

- エスカレーター落下防止装置
- タイブルによる津波漂流物対策
- グラウンドアンカーによるタンク補強
- 間伐材を利用した津波避難台
- 防波堤等を粘り強くするアンカー

各種製品、工法の詳細はこちら

⇒ <http://se-kankyobosai.jp/catalog>

【お問合せ】

本メルマガに対するご意見やご要望は下記まで、お気軽にご相談ください。  
また設計検討に関する問合せや資料請求も以下までご用命ください。

- 株式会社エスイー 環境防災事業部
- 〃                  九州支店

TEL:03-3340-5510 / FAX:03-3340-5546  
TEL:092-473-0191 / FAX:092-473-1421

- 問合せ専用ページ
- 株式会社エスイー
- 環境防災製品分野

<http://se-kankyobosai.jp/contact>  
<http://www.se-corp.com>  
<http://www.se-kankyobosai.jp>